

せたがや 町総連だより

第 43 号

発行 世田谷区町会総連合会

世田谷区若林 4-31-9 ポライト第2ビル202

☎・FAX 5481-3456

発行人 会長 齋藤重男

編集 情報誌編集委員会

編集委員長 横山昭夫

町総連だより 増刊にあたって

世田谷区町会総連合会 会長 齋藤重男



世田谷区町会総連合会は、当連合会に加入している区内197の町会・自治会相互が協調・親睦・情報交換を円滑に行えるための支援や、区や区民との橋渡しを行っています。今回、町会・自治会の役員向けに発行している「町総連だより」をより多くの区民に読んでいただくため発行部数を増やし、回覧で

も読めるようにしました。また、区の図書館や出張所・まちづくりセンター等にも置き、町会・自治会加入者以外の方たちにも読んでいただけるようにしました。町会・自治会の活性化や会員の加入促進に役立てればと願っています。

地域情報

玉川地域

明るく住みよいまちづくりを目指して 協和会 会長 吉村俊雄

協和会は昭和23年5月に、現在環八に当たる旧桜並木の北側の、玉川支所第三出張所内に事務所を設け、「等々力壺丁目町会」として発足しました。昭和31年、「協和会」に改名、昭和55年に等価交換で事務所を等々力2丁目に移転し、その後法人組織になりました。地元の豊田正治村長の下で大正の末期から始まった「玉川全耕地整備事業」は昭和29年にほぼ完成しましたが、お蔭で等々力地区も整然とした街並みになっています。協和会は等々力1丁目から2丁目、尾山台3丁目の広い地域にまたがり、尾山台商栄会や尾山台東栄会の商店会の方々にも役員に入っています。

協和会の管轄の中には皆様もご存じの通り、等々力溪谷が入っており、多摩川が遠望できる国分寺崖線に面した、緑の豊かな地区です。等々力溪谷は平成11年に都の名勝指定になり、年間60万



「等々力協和会会館」

人近くが見物に訪れ、はとバスのコースにもなっています。多摩川も平成に入り浄化が進み、沢山のアユの遡上がみられるようになりました。また以前から話がありましたがやっと目黒通りが環八の交差点から多摩川の土手まで伸びて、いよいよ等々力大橋（仮称）が完成まで10年近く掛かると

のことですが着工の運びとなりました。

協和会は1400世帯近くの会員が在籍しています。ご近所を班ごとに分け、その集団を第一分会から第八分会まで地区割りしています。毎月末30名近い役員が参加して活発な意見交換を行っています。ゴミゼロディーは分会ごとに5月末に実施し、防犯パトロールも各分会で同時に行っています。また災害時要援護者支援も世田谷区と協定を結び、民生児童委員と共に調査協力して、高齢者、一人暮らし、身体の不自由な方の所在地を地図上にプロットして災害時に備えています。避難所訓練も小学校が2校（尾山台小学校・玉堤小学校）あり、役員を二つに分けて学校、PTA、おやじの会等の参加により、役所と協力して自主的に訓練を行っています。秋には日帰りバスを一般会員の交流と役員研修と1年ごとに分けて開催しています。防災訓練は今までC級・D級ポンプ隊で行っていましたがスタンドパイプが入りましたので、これからはD級ポンプ・スタンドパイプを中心に訓練をしていきたいと思ひます。敬老慶

祝は毎年自己申告ですが77歳・88歳・99歳になられた方にお渡ししています。等々力は環境の良い街ですが、高齢化が進み、高齢者世帯、一人暮らしが増加しつつあります。町会のモットーであります「明るく住みよいまちづくり」「自らのまちは自ら守る」をもとに防火、防災、防犯、交通安全、福祉対策等を役所、学校等と連携を密にして進めていきたいと思ひます。



「等々力根原睦お祭り 子供の山車」

砧 地 域

私たちの町会

いつの頃からだろうか、町会というものを感じたのは？

小さい頃からこの町で育ちながら、仕事の関係でこの町を離れ、また戻ってくる。そんな繰り返しは何回あったことだろうか。かなり多くの人達が、こんな経験をしているのでは、と思ひます。

祖父母、両親、その何代も、ずーっと昔からこ



「ラジオ体操」

大蔵東部町会 会長 安藤 茂

の土地で暮らし、自分の住んでいる村を、町を、支えてきてくれた先人がいたからこそ今があると思ひます。決して裕福とは言えない、農業を中心としたこの地区の子ども時代(50~60年前?)の思ひ出は、夏休みの空き地でのラジオ体操、雑地や畑を踏み固めての盆踊り、町会子ども会での丹沢方面での川遊び等、当時の子ども達にとっては、夏休みの大きな楽しみの一つでもありました。又、今では町会、氏子会の協賛による神輿、太鼓の巡行が行われていますが、当時は神輿の巡行も無く、家でお祭りだからということで、赤飯や煮物を食べるのが唯一の楽しみでした。

何時の頃からか、神社境内の小さな社が、今の社殿に建て替えられ、太鼓、神輿も揃えられ、境内での親子納涼盆踊り大会(園児~中学生迄の、子ども達による太鼓の音頭等)、ラジオ体操(横根稲荷神社境内と圓光寺境内の2ヶ所にて)も、出来る様になりました。

現在では、町会の行事が行われる度に、参加す

る子ども達の多さには圧倒されます。子育て世代の家族と、今の町会を支えている人達との繋がりと思いがこれらを実現させていると想像できます。

昔ゴルフ場だった場所は、今都立の砧公園となり、桜の名所として親しまれています。休みの日は特に、小さい子どもを連れた家族で賑わっています。隣り合って世田谷区の体育館や、温水プール、打ちっぱなしのゴルフ練習場、テニスコート等、素晴らしい環境や施設に恵まれています。農地だったところもマンションが建ち、戸建て住宅も建ち並び、この地を、新たなふるさとに選んで頂く方々が増えて来ています。

私たちに、小さかった頃の楽しい思い出が残っているように、お父さんお母さんを含め、この地で育っていく、今の子ども達にも、楽しい思い出に残る経験をさせてあげられたら、次の世代を担ってくれるのかなど、淡い期待をしてみたいです。

その為にも今、より多くの地域の方々が町会に加入し、安心安全に暮らせるような、まちづくり

の推進をしていかなければならないと思います。

そして、非常時に備えた、防災・防犯対策を念頭に置き、誰にも優しい町会を心がけて行きたいと考えます。



「横根稲荷神社例大祭 (2007)」

烏山地域

粕谷と鎌倉街道

鎌倉武士武蔵七党とは、平安時代後期から鎌倉時代・室町時代にかけて武蔵国を中心として関東一円に勢力を伸ばしていた同族的武士団の総称で、横山党・児玉党・猪俣党・村山党・野与党・丹党・西党・綴党・私市党・村山党の一派金子(つづじヶ丘)の金子党など、武蔵武士は御家人として鎌倉幕府を支え、伝統的な豪族層が支配する北関東と異なり、幕府に従順でした。『吾妻鏡』に記載されている武蔵武士は187氏にも及びます。大きなグループが七つ有り、横山党は武蔵国多摩郡横山庄を中心に活躍。猪俣党は武蔵国那珂郡の猪俣館を中心に勢力があった。野与党は武蔵国北埼玉郡の野与庄に。村山党は武蔵国多摩郡村山郷に。児玉党は武蔵国児玉郡あたりに武蔵七党中最大勢力の集団を形成。西党は多摩川およびその支流である浅川や秋川流域が地盤。丹党(本名本橋)は秩父から飯能を拠点として活動していました。これらの武士団が居住していた場所が約600箇所確認されています。そこから「鎌倉へ」、南北の道はほとんどが「鎌倉街道」だった

粕谷会 副会長 本橋 生市郎

と思われます。

粕谷では千歳通りが鎌倉街道と言われていました。粕谷を南北に縦に貫いており、これに沿って、ウテナの坂・粕谷のお地藏様・塚戸と3箇所箇所に小さな塚がありました。粕谷の塚には3人の鎌倉武士が埋葬されていると伝えられていて、近年まで季節には香華を手向けていたそうです。塚戸は「塚土」で、十字路の小学校側に高さ3メートルくらいの塚があり、明治の初めに邪魔になるからと平らにしたら、鎧の断片や錆びた刀が出てきたそうです。旧千歳村あたりでも戦いがあったのかも知れません。環八沿いに砧公園の中、二子玉川・兵庫島までの道が考えられます。北は井草八幡から所沢へと続きます。

船橋にも鎌倉街道があります。甲州街道上北沢に「鎌倉街道入り口」があります。南には二子玉川の兵庫島、この両地点をつなぐ環八に沿って、鎌倉街道があったと思われます。上北沢の駅から南に八幡山の八幡神社、これは明治の始めまで船橋村の所属でしたが、この脇を通り、水道道路の

東側を水道局の脇で先の千歳通りの鎌倉街道と合流します。これが船橋の鎌倉街道です。この時に船橋の湿地を鎌倉武士が渡るのに舟の橋を架けて「船橋」となったと言われています。この場所を見守るために北側の高台に八幡神社を造ったのではと思われます。

廻澤の東覚院の前立て本尊の体内から出た書付に「運慶の作か」の記述がありますが、鎌倉からの距離の近さ、鎌倉街道の濃密さ等を考えると運慶の造った仏像かも知れません。

また榎の交差点への『六郷田無道』これも武蔵野武士田村山党の金子氏の拠点「金子屋敷（通称島屋敷）」から鎌倉への『鎌倉街道』かも知れません。この先北に田無から村山党の村山・所沢・飯能へと道は続きます。

これらの道は二子玉川から鎌倉街道（現厚木街道）に連なり、荏田から南下して、鎌倉武士の遺

跡、二俣川や鶴ヶ峰を通過って鎌倉へつながりま
す。粕谷から約50キロメートルです。

北に行けば環八から川越街道、飯能・秩父と鎌倉武士武蔵七党の丹党の拠点に連なります。また飯能から南に、青梅から町田への分倍河原の鎌倉街道も有りました。



「ウテナの塚」

町総連ニュース

表彰

▼平成28年6月16日

東京都町会連合会表彰

- 鈴木 賢治 常任理事（宮坂1・2丁目町会）
- 矢島 嗣久 常任理事（代沢中町会）
- 水野 貞 副会長（上祖師谷自治会）

◎町総連だより（年2回発行）第43号編集委員会の開催

▼平成28年3月30日

町総連だより第43号の編集方針など

▼平成28年5月26日

町総連だより原稿の確認読み合わせ

▼平成28年6月22日

町総連だより原稿の校正

※次号は世田谷地域と北沢地域の情報を掲載します。

◎町総連情報誌編集委員会名簿

平成28年6月現在

役職名	氏名	所属町会・自治会名
会長	斎藤重男	玉堤町会
委員長	横山昭夫	九品仏自治会
副委員長	堀江義之	若林町会
副委員長	吉岡靖之	藤自治会
委員	飯塚捷子	豪徳寺2丁目町会
”	遠藤幸一	大原北町会
”	根岸久芳	駒沢3丁目町会
”	大塚栄江	成城団地自治会
”	本橋俊夫	粕谷会

編集後記

町会・自治会からの回覧でより多くの会員の方に読んで頂くようこの号から「せたがや町総連だより」が5地域を3つと2つに分けて情報をお届けすることになりました。

原稿は今まで通り編集委員から各地域の会員に指名依頼し、我々編集委員会で推敲して発行しております。より良い町総連だよりになりますようにご期待いただきたいと思
います。皆様からのご意見も合わせてお届け下さい。 編集委員 本橋 俊夫

世田谷区町会総連合会のホームページ

世田谷区町会

検索

※QRコード



バーコードの一種で、携帯電話で撮影して、簡単にホームページを見ることができます。